オウレン末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は黄褐色～灰黄褐色を呈し，弱いにおいがあり，味は極めて苦く，残留性で，唾液を黄色に染める．

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，ほとんど全ての要素は黄色を呈し，道管の破片，仮道管の破片，木部繊維の破片，でんぷん粒を含む柔細胞，多角性のコルク組織，通例，円形～鈍多角形を呈する石細胞又はその群，径 10～20μm の師部繊維又はその束の破片を認め，更に多角性で細長く細胞壁が特異な肥厚を示す葉柄の表皮細胞を認めるものがある．でんぷん粒は単粒で，径 1～7μm である．